

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和63年度～		根拠法令・例規等	備前市地域振興活性化事業補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり			
	小項目	施策	03	水産業			
事務事業名		04	漁村地域活性化事業		問合先	担当課(室)	日生総合支所管理課
					職・氏名	課長補佐・濱山 一泰	
					電話	0869-72-1259	

事業の実施		対象(誰・何に対して)	岡山県内及び関西圏域の住民等
目的(何のために)		備前市のキャッチフレーズ“海とみどりと炎のまち”の“海”をPRする。	
行政活動(どのような方法で)		イベントにおける企画立案・運営等	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		交流人口の増加	

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	ポスター掲示依頼件数				
実績	県内(市内を除く)	件	112	109	118
	県外	件	70	70	161
費用	直接事業費	千円	3,400	3,150	2,300
	必要人員人件費		0.50人	0.82人	0.61人
経費	事業費	千円	7,540	9,351	7,558
	国・県支出金			300	
収入	受益者負担金	千円			
	その他()				
受	一般財源		7,540	9,051	7,558
	受益者負担比率	%			

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	ポスター掲示依頼件数	件	182	179	279
対前年	対前年対比	%	98.4%	155.9%	
	活動コスト	円	7,540,000	6,475,854	7,860,515
結果指標②	単位当たりコスト	円	41,429	36,178	28,174
	出店団体数	団体	17	19	23
対前年	対前年対比	%	111.8%	121.1%	
	活動コスト	円	7,540,000	6,475,854	7,860,515
達成率(B/A)	達成率(B/A)	%	101.1%	98.4%	155.9%
	単位当たりコスト	円	443,529	340,834	341,762

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
		180	182	179	前年度を下回らないよう
ポスター掲示依頼件数	実績値(B)	182	179	279	到達目標年度
	達成率(B/A)	101.1%	98.4%	155.9%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
市外からも多くの来場者が訪れてもらえるように、県内のみならず、関西圏域へもポスターの掲示依頼をする。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		C
妥当性の評価	市の関与の妥当性	判定理由・課題認識		
		水産業をPRするイベントであるが、実行委員会の役割分担で特に、運営面において行政主導である。		
市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	効率性評価<A~E>		
	説明 地域に根付いたイベントである	D		
効率性の評価	コスト	判定理由・課題認識		
		本市の財政状況及び効率性の観点から、本市で開催されているイベントの統廃合を検討する必要がある。		
有効性の評価	目的達成度	有効性評価<A~E>		
		C		
市民参画度	市民参画度	判定理由・課題認識		
		イベントの開催は、観光PR・地域振興の観点から有効な手段ではあるが、イベントが一過性であるため、必ずしも地域活性化につながってはいない。		

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	279	結果指標量②	23	成果指標量	279
状況	拡充		現状継続		見直し	
	縮小	○	整理統合		休止	
説明	廃止・完了		市費補助金が対前年度比400千円の減額となり、昨年度までのイベント内容を維持するために各種団体等の協力が不可欠であるが、財政難を理由に毎年一律に減額となると開催そのものが困難である。			

総合評価		評価区分<A~E>	C
従来からの同規模のイベント内容を維持しようとした場合、これ以上の市費の減額となれば開催自体が困難な状況であるため、本市で開催されているすべてのイベントについて、統廃合を含め、実行委員会の一化等大幅な見直しが必要である。			

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	本市の財政状況等から補助金を交付しているイベントの統廃合を検討する必要がある。					
	改善がある場合	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
効率性	イベントの統廃合と担当課の一化	平成22年度	コスト削減			